

2022 年度
ミス・パリ エステティック 専門学校

自己評価報告

2023 年 4 月

学校法人ミスパリ学園
ミス・パリ エステティック 専門学校

2022年度 自己評価について

学校法人ミスパリ学園が運営するミス・パリ エステティック専門学校は、大阪市北区曾根崎に2010年4月に開校しました。同時期に姉妹校であるミス・パリ エステティック専門学校名古屋校（愛知県名古屋市）も開校しております。

本校の前身となるミスパリエステティックスクールは、1990年にエステティックに関する教育を本格的に開始し、常に先進的な理論と技術を教授し、その授業時間も300時間、1,000時間と増やすことにより、カリキュラムを充実させてきました。また学生がより興味と意欲を持って学習する環境を構築するため、2015年度入学生から選択コースを実施しております。

専修学校として再スタートを切る際には、全国でもあまり類を見ない2年間で2,085時間という非常にハイレベルのカリキュラムを編成し、即戦力人材の育成に注力し、有為な人材を関係業界だけでなく他分野にも多数輩出してまいりました。

これからも本校の教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を基本とし、教育内容の更なる充実を図り、日本のみならず世界で活躍できる人材育成に向け、教職員一同努力してまいります。

以下にあるとおり2022年度の自己評価の取り組み状況をご報告いたします。

自己評価の目的は、本校に関する各項目を教職員が客観的に評価することにより、改善点を見出し、更に実践的な教育プログラムを充実させることにより、学生はもとより教職員の質の向上に資するものです。

学生が卒業後も活躍できる環境の醸成に向け、今後も引き続き、企業や業界団体の皆様のご理解、ご支援を賜りたいと存じます。

1. 評価実施期間

2022年4月1日～2023年3月31日

2. 実施方法

- (1)校長以下、学年主任、教育課主任が中心となり、各教職員が連携して評価を行う。
- (2)評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし作成。
- (3)評価は、年度終了後速やかに行い、年1回行うこととする。
- (4)評価結果は、学校関係者評価委員に報告するとともに、現状と今後の改善、解決に向けた取り組み等を公表することとする。

3. 自己評価の項目

- (1)教育理念・目標 (2)学校運営 (3)教育活動 (4)学修成果
- (5)学生支援 (6)教育環境 (7)学生の受入募集 (8)財務
- (9)法令等の遵守 (10)社会貢献・地域貢献

4. 評価項目に対する評価

評価は5段階とし、

5：良好 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

以上

2022年度 ミス・パリ エステティック専門学校 自己評価表

1. 学校の教育目標

本校の教育理念「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を念頭に、学校法人ミスパリ学園としての自覚と自負の下、「充実した教育課程」「学生獲得」「就職確保」の3本柱を全教職員の力で全うし、わが国トップクラスのトータルビューティの専門学校を目指す。

2. 本年度に定めたい重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 教育の質の向上、魅力的で楽しく、充実した内容の授業を行う。講師の評価制度を確立する。
- 2) 募集定員の確実な達成を図る。
- 3) 学生の遅刻・欠席をなくし、進級率 90%・就職率 100%を達成する。
- 4) 学生の体力、人間力の向上を図る。
- 5) 働くことの意義を理解し、社会で活躍できる人づくりを行う。
- 6) 即戦力になる人づくりを行う。
- 7) 学園（姉妹校4校）の協力により、相乗効果を上げる取り組みを行う。

3. 自己評価

良好…5 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価	前年度
1	学校のビジョン及びそれを実現するための方針を策定しており、かつ、教職員に理解されているか	5	5
2	特色ある学校づくりを進めるために、求められる仕事及び求められる人間性を明確にし、学校独自のカラーを出しているか	5	5
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生や保護者等に周知されているか	5	5
4	目標に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか	5	5

5	教育目標、育成人材は学科等に対する社会のニーズに向けて方向付けられているか	5	5
<p>取り組みと結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の身だしなみ（服装、夜会巻き、メイク等）・挨拶(美しい声での挨拶)・正しい敬語を身に付けられるよう、まずは教職員が手本となるために講師研修を年3回実施。昨年度に好評であった手話の研修を今年度も取り入れたが、表現力と共にメッセージを伝えることに職員一人一人の声、表情への意識が高まった。その結果、ミスパリ学園の教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」に沿った教育体制を整えられた。 ・教務担当、学生募集担当、就職担当が定期的に打合せを行うことで、「三位一体」での学校運営を進められる体制が強固となった。 <p>今後の施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員室や個人面談など、授業以外の場面においても継続して学生の手本となる表現方法や言葉の選び方をこれまで以上に意識的に心がけ、学生との信頼関係を築き、学習意欲を引きあげる。学生1人1人の目標を明確にし、成功体験を通じ、自身で成長を感じる場面作りをする。 			

(2) 学校運営

	評価項目	評価	前年度
1	事業計画等に沿った運営方針が策定されているか	5	5
2	学校運営などに学生の意見が反映されているか	5	5
3	地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元開放しているか	4	4
4	地域との協力関係が確立されているか	4	4
5	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されていて、有効に機能しているか	5	5
6	人事・給与等に関する規程等は整備されているか	4	4
7	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	5	5

8	教職員の健康診断を実施しているか	5	5
9	各種システム化等により業務の効率化が図られているか	5	4
10	ホームページは、適宜更新し、見やすくしているか	5	5
11	学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか	5	5
12	学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか	5	5
<p>取り組みと結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS の強化を引き続き実施しており、在校生・保護者はじめ、入学前の高校生からも本校の授業や学校行事の取り組みを確認できるなど好評を得ている。特に保護者にも各アカウントをフォロー頂くことで、これまで以上に学校での様子が伝わり、学校運営に対する理解度が深まる結果となった。 ・ 感染症の影響で外部や地域との交流が減少傾向にあったが、情勢に合わせて可能な限り行事を実施した。 <p>今後の改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染防止対策への取り組み方が変化すると予想されるなかで、地域社会に関わる機会を増やす（ボランティア活動や学内サロンの集客活動など）。 			

(3)教育活動

	評価項目	評価	前年度
1	教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているか	5	5
2	定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化にあったものに修正しているか	5	5
3	シラバス（授業計画書）は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか	5	4
4	効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整しているか	5	5
5	授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善しているか	5	5

6	学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価は公平性・妥当性が保たれているか	5	5
7	評価結果による教員面接・指導が行われているか	5	5
8	未修了科目の原因分析を教員側と学生側とで実施し、対応策を講じているか	5	5
9	資格対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど、教職員一丸となって取り組んでいるか	5	5
10	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	5	4
11	教職員のスキルアップのための研修を行っているか	5	5
12	研修や出張で学会等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか	5	4
13	教職員の授業を他の教職員、または外部関係者が参観、講評できる制度があるか	5	4
14	教職員による自己評価が定期的に行われているか	5	5
15	インターンシップ等を利用して、職業選択について深く考える契機を提供出来ているか	4	4
16	関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5	5

取り組みと結果

- ・半期ごとに実施する授業アンケートを活用し、学生の満足度・学習意欲向上を目的に指導方法の改善を行った。更に、学生の要望・進捗状況に合わせその都度授業内容を変更し、理解度を高めた。
 - また、昨年度に効果的だったオンライン授業の内容を充実させることにより、理解度を高めることができ、学生満足度・技術レベルの向上に繋がった。
 - ・放課後の自主練習に必要な教室や時間を確保し、学生の向上心を維持出来たことも学生のレベルアップに繋がった。
 - ・講師研修を教職員自らが企画し行うことで、人間力を高める取り組みが出来ている。
- (3回実施)

- ・保護者会を年3回実施。時期に合わせて、保護者の関心が高い学生生活の雰囲気や資格取得、就職状況、進学や研修旅行などの状況を報告している。また、授業アンケートの回答より、授業に対する学生の意見や改善内容を公表している。

課題

- ・引き続き教職員の指導力のレベルアップが必要。

今後の施策

- ・教職員の指導方法を講評できる機会を増やし、指導力の向上を図ること。
- ・引き続きオンライン授業と対面授業、それぞれの特長やメリットをいかした併用型の授業計画を立て、さらなる効果的な授業運営を図ること。

(4) 学修成果

	評価項目	評価	前年度
1	学生の就職に関する目標を設定したか。またその成果は十分か	5	5
2	学生の資格取得目標を設定し、その結果検証をおこなっているか	5	5
3	中途退学者を少なくする工夫・努力をしているか	5	5
4	卒業生の就職先での評価を把握し、問題点を明確にしているとともに、その改善策を講じているか	5	5

取り組みと結果

- ・昨年に引き続き、スパ・ウェルネス協会の賛助会員企業の情報を基に、各業界の求人情報を収集し早期に行動したことで、就職内定100%を達成した。

(2022年7月7日)

- ・エステティックマスター学科では、多くの資格試験で合格率100%を達成することができ、トータルビューティ学科でも資格取得への意欲も高く、ネイル検定3級やパーソナルカラー検定では、前年と比較し合格率が伸びた。
- ・引き続き、就活面談でオンラインを取り入れたことにより、面接練習としても活用する事が可能となり、就職活動に不安の残る学生への対策を行うことができた。
- ・個人面談、オンライン面談、三者面談など状況に応じた方法で学生と会話する機会を設けることで中途退学者を減らす取り組みを行い、改善の兆しは見えたが目標には至らなかった。
- ・保護者会でも就職活動の流れや業界の動きを保護者へ共有し進めた。
- ・担任と就職担当者で、学生の情報共有も含めたミーティングを実施。

課題と目標

- ・就職率 100%の維持。
- ・資格合格率 100%を目標とする。
- ・中途退学者の更なる減少を目標とし、進級率 95%以上を目指す。

今後の施策

- ・引き続き、こまめに企業や学生と連絡を取りながらサポートを行い、学生が就職活動で抱える不安を解消し、安心してもらい納得する就職先を紹介し、長く勤められる環境作りをサポートすること。
- ・保護者との協力体制を強化し全員卒業を目標とすること。

(5) 学生支援

	評価項目	評価	前年度
1	学生の心身面での健康管理体制が整っているか	5	4
2	学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じているか	5	5
3	学生のクラブ活動やボランティア活動などの自主活動を支援しているか	4	4
4	災害など非常時の危機管理体制が整っているか	5	5
5	奨学金等の経済的支援があるか	5	5
6	学費減免、学費分納制度があるか	5	5
7	学生寮を保有、または紹介をしているか	5	5
8	卒業生への再教育、または就職支援体制はあるか	5	5
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境は整備されているか	5	5

取り組みと結果

- ・学生の声に耳を傾ける機会（個人面談、就職面談など）も増え、安心して学生生活を送れる体制が整っている。

今後の施策

- ・ 補習授業など学習の機会を増加する取り組みを継続すること。
- ・ 入学後のオリエンテーションでコミュニケーションワークを取り入れ、継続して行うことで人間関係の構築や心の問題を一人で抱え込まない環境を維持する。（年2回）
- ・ 学内行事については、人数制限や時間短縮を取り入れた開催を検討すること。

(6) 教育環境

	評価項目	評価	前年度
1	教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されているか	4	4
2	施設・設備等の定期点検、補修等について適切に対応しているか	5	5
3	教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	5	5
4	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	5	4

取り組みと結果

- ・ 来校型とオンライン型を併用し、学生の満足度が下がらないように教室配置など工夫した取り組みを行った。
- ・ 校舎1階のエントランスやお手洗いの環境整備を行った。

今後の施策

- ・ 学習環境の向上の観点から、インターネットの環境整備や教室使用などの効率化を図ることが引き続き必要である。
- ・ エレベーターや避難経路の修繕

(7) 学生の受入募集

	評価項目	評価	前年度
1	学生募集計画があるか。また成果は十分か	4	4
2	学校案内等には育成人材像が明示されているか	5	5

3	学校案内等には目指す資格・検定試験等が明示されているか	5	5
4	学校案内等には学費・教材費が明示されているか	5	5
5	入学（予定）者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか	5	5

取り組みと結果

- ・進路ガイダンスに例年以上に参加が出来ており、またオープンキャンパス以外に平日の放課後オープンキャンパスを開催するなど、学生募集コンテンツの選択肢が増え入学希望者や保護者と対話する機会が多くなり、入学者が増加した。
- ・オンデマンドオープンキャンパスなどの動画の活用が好評。
- ・「あんでなサン」のテレビ放送により学生や保護者の興味や関心が高まった。
- ・進路ガイダンス業者との面談を増やし、情報収集を徹底した。
- ・引き続き、各種資格試験の対策や授業スケジュールを工夫したことで、受験率並びに合格率とも好結果となった。

課題

- ・入学希望者に当校の魅力を伝え、理解が深まる説明ができる教職員の育成。
- ・説明会やオープンキャンパスの他、放課後オープンキャンパスや随時開催しているオンライン個別相談など十分な参加者を確保する。

今後の改善策

- ・特別イベントの企画（似合わせカラー、スキンケア講座、ダイエットセミナー）をブラッシュアップして高校生にとってより興味が持て、本校の魅力が伝わりやすい内容を構築すること。
- ・学生募集担当者やガイダンス業者に対するデータ分析を徹底し、定員の充足を目指すこと。
- ・重点校の学校訪問を計画的に行い。高校教員とこれまで以上の信頼関係を築く。

(8) 財務

	評価項目	評価	前年度
1	予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進捗管理を行っているか	5	5

2	財務について会計監査が適正に行われているか	5	5
3	財務情報公開の体制整備はできているか	5	5
取り組みと結果 ・教職員のコストに対する意識を高め、適正に財務管理が執り行えた。			
今後の施策 ・引き続き、適切な財務管理の維持に努める。			

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価	前年度
1	法令や専修学校設置基準を遵守しているか	5	5
2	学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか	5	5
3	学生、非常勤講師や教職員の個人情報の保護について、考慮しているか	5	5
4	自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善につとめているか	5	5
5	自己評価結果を外部に対して公表しているか	5	5
取り組みと結果 ・引き続きオリエンテーションやホームルーム、終業式を活用し、個人情報管理に対する注意喚起を徹底したことで情報漏洩等の事故はなかった。 ・授業アンケートの結果から教員各自が授業評価を行い、学校長との面談で自ら改善点を把握して指導力の向上に繋げた。			
今後の施策 ・引き続き個人情報の取扱いに対する意識強化を図り、管理体制を徹底すること。			

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	前年度
1	学校の実習施設を活用するなど高等学校の職業教育の実施に協力・支援しているか	5	5
2	環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか	5	5
3	受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	5	5
4	学習成果が国内外で評価される取組みを行っているか	5	5
取り組みと結果 <ul style="list-style-type: none">・私立大阪高校から高校独自で取り組まれている授業「コラボゼミ」への協力の依頼があり、美容業界の仕事紹介やスキンケア講座による理論型授業とハンドマッサージ体験やオープンキャンパスに参加する実践型授業を担当する機会を設ける事が出来た。その事で高校との信頼関係もより強固となった。			
課題と目標 <ul style="list-style-type: none">・大阪高校での取り組みを好例とし、他校でもコラボゼミの提案を行う。			
今後の施策 <ul style="list-style-type: none">・高校訪問を計画的に行い、信頼関係を築くとともに、コラボゼミの提案を行う。			